

リンクD 競技力の向上

施策1 選手の発掘・育成・強化及び指導者の養成・資質向上

目標・方向性（関連性）

個々の選手及びチームの競技力向上を推進する

- ア 国民体育大会入賞に向けた選手強化（リンク A・E）
- イ 未来のアスリートの発掘・育成・強化（リンク A・E）
- ウ 学校運動部活動指導者の養成・確保と適正配置（リンク A）
- エ 研修機会の確保等による指導者の養成・資質向上（リンク A・C）
- オ 障害者競技スポーツの競技力向上（リンク B・E）

令和元年度の主な施策（計画） 【予算額（千円）】担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元計画	2	3
・国民体育大会派遣【67,922】 競技スポーツ 本大会 役員・監督・選手派遣数 冬季大会 役員・監督・選手派遣数	第72回 本部役員 25人 監督 63人 選手 463人	第73回 本部役員26人 監督 68人 選手 503人	第74回 本部役員 人 監督 人 選手 人		
	本部役員 23人 監督 6人 選手 54人	本部役員26人 監督 7人 選手 54人	本部役員 26人 監督 6人 選手 34人		
・国体選手強化・サポート事業 （本部事業）【108,120】 競技スポーツ 国体出場選手強化支援 （練習・合宿・遠征） コーチ・トレーナー等の派遣 強化コーチ養成支援	延べ参加者数 指導者 1,882人 選手 6,903人 派遣者 256人 参加者 57人	集計中			
・ちばジュニア強化事業 （本部事業）【65,830】 競技スポーツ ジュニア選手強化・拠点強化支援 強化型別支援 若手指導者養成支援 ジュニア強化選手の指定	指導者 4,052人 選手 19,142人 14事業 131人 3,523人	集計中			
・指導者の適正配置・確保 関係各部署と検討	適宜実施	適宜実施			

- 継続して事業を進めていく予定のもの
- ⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

平成 30 年度主な施策の効果（成果・課題）	令和元年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班
<p>○国民体育大会派遣【73, 580】 競技スポーツ</p> <p>県民の健康増進と体力向上、併せて地方スポーツ振興等を図るため、国民体育大会に千葉県選手団を派遣しました。</p> <p>・派遣概要</p> <p>関東ブロック大会 （中心会期：8月17日～19日） 茨城県 73回本大会（9月29日～10月9日） 福井県 74回冬季大会スケート・アイスホッケー競技会 （平成31年1月30日～2月3日） 北海道 スキー競技会 （平成31年2月14日～17日） 北海道</p> <p>○国体選手強化・サポート事業（本部事業） 【117, 780】 競技スポーツ</p> <p>国民体育大会において男女総合（天皇杯）入賞、女子総合（皇后杯）入賞の成績を収めるため、本県国体代表チーム・選手の継続的・計画的な強化活動を推進しました。</p> <p>・事業内容 国体選手強化 コーチ等の派遣 強化コーチ養成支援</p> <p>○ちばジュニア強化事業（本部事業）【68, 000】 競技スポーツ</p> <p>ジュニア層（原則小学生～中学生）を対象に素質のある選手の早期発掘と年齢・競技種目等に応じた計画的・継続的指導を行うとともに指導者の養成を図り、地域に根ざした競技種目の普及を目指した事業を実施しました。</p> <p>・事業内容 ジュニア選手強化・拠点強化支援 強化型別支援 若手指導者養成支援 ジュニア強化選手の指定</p> <p>○指導者の適正配置・確保【一】 競技スポーツ</p> <p>庁内の関係部署と協議をし、確保と適正配置の具体策と千葉県体の成果を踏まえた、地域の核となる運動種目に特化した部活動の在り方について検討を進めました。</p>	<p>○国民体育大会派遣【77, 601】 競技スポーツ</p> <p>県民の健康増進と体力向上、併せて地方スポーツ推進等を図るため、国民体育大会に千葉県選手団を派遣します。</p> <p>・派遣概要</p> <p>関東ブロック大会 （中心会期：8月23日～25日） 千葉県 74回本大会（9月28日～10月8日） 茨城県 75回冬季大会スケート・アイスホッケー競技会 （平成32年1月29日～2月2日） 青森県 スキー競技会 （平成32年2月16日～19日） 富山県</p> <p>○国体選手強化・サポート事業（本部事業） 【108, 120】 競技スポーツ</p> <p>国民体育大会において男女総合（天皇杯）入賞、女子総合（皇后杯）入賞の成績を収めるため、本県国体代表チーム・選手の継続的・計画的な強化活動を推進します。</p> <p>・事業内容 各競技団体の強化活動支援 本県得意競技の支援 指導者の資質向上支援</p> <p>○ちばジュニア強化事業（本部事業）【65, 830】 競技スポーツ</p> <p>ジュニア層（原則小学生～中学生）を対象に素質のある選手の早期発掘と年齢・競技種目等に応じた計画的・継続的指導を行い、未来のアスリートの発掘・育成・強化や指導者の養成・資質向上を図るとともに地域に根ざした競技の推進を目指します。</p> <p>・事業内容 ジュニア選手強化・拠点強化支援 強化型別支援 ジュニア強化選手の指定</p> <p>○指導者の適正配置・確保【一】 競技スポーツ</p> <p>庁内の関係部署と協議をし、確保と適正配置の具体策を検討します。</p> <p>併せて、地域の核となる運動種目に特化した部活動の在り方について検討を進めます。</p>

リンクD 競技力の向上

施策2 競技力向上のための環境整備

目標・方向性（関連性）

計画的な競技用具の整備を推進する

トップチームを支援し、競技団体の強化環境を整える

ア 強化拠点施設の確保と競技用具等の計画的な整備の推進（リンク C）

イ トップチーム支援及び企業・大学・総合型クラブ等との連携（リンク E）

ウ 参加条件の整備（リンク A）

令和元年度の主な施策(計画) 【予算額(千円)】担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元計画	2	3
<p>・競技用具等整備事業（本部事業） 【7,500】競技スポーツ 対象競技団体数</p>	4 競技団体	4 競技団体	4 競技団体		
<p>・トップチーム支援事業（本部事業） 【7,400】競技スポーツ トップチーム指定チーム数</p>	19 競技 33 団体	19 競技 35 団体	18 競技 35 団体		
<p>・公共スポーツ施設の有効活用 【-】競技スポーツ 実施事業数 県総合スポーツセンター 県国際総合水泳場</p>	156事業 83事業	160 事業 90 事業	160 事業 90 事業		
<p>・選手・指導者の参加条件の整備 【-】競技スポーツ 協力依頼文の送付 当該校へ協力要請のため訪問</p>					→

- 継続して事業を進めていく予定のもの
- ⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

平成 30 年度主な施策の効果（成果・課題）	令和元年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班
<p>○競技用具等整備事業（本部事業）【7,500】 競技スポーツ 競技運営のための施設・用具の整備を配慮しながら、競技力向上のための施設・用具の整備を段階的・計画的に行いました。 ・30年度強化練習等に必要競技用具等の整備（セーリング競技・馬術競技・山岳競技・カヌー競技 4競技団体）</p> <p>○トップチーム支援事業（本部事業）【7,600】 競技スポーツ 本県において各競技の主軸となる競技力を有する企業等のチームをトップチーム団体に指定し、その主体的な強化活動の支援を行いました。 ・【指定競技】 陸上競技・水泳競技・サッカー競技・テニス競技・ホッケー競技・バレーボール競技・体操競技・バスケットボール競技・ハンドボール競技・ソフトテニス競技・柔道競技・ソフトボール競技・剣道競技・ラグビー競技・山岳競技・カヌー競技・銃剣道競技・トライアスロン競技・スケート競技 19競技 35団体</p> <p>○公共スポーツ施設の有効活用【一】 競技スポーツ 県総合スポーツセンターや県国際総合水泳場、その他の公共スポーツ施設等において、ジュニア選手や県選抜チーム・選手が効果的・効率的に練習することができるように施設の有効活用を進めました。</p> <p>○選手・指導者の参加条件の整備【一】 競技スポーツ 競技力向上の推進に当たって児童生徒や教員の学校教育活動に支障をきたさぬよう十分配慮しながら、所属長に競技会等への参加について可能な限り配慮いただけるよう依頼しました。</p>	<p>○競技用具等整備事業（本部事業）【7,500】 競技スポーツ 選手強化に必要な用具等を整備し、選手が高いパフォーマンスを発揮するための環境を整備します。 ・元年度強化練習等に必要競技用具等の整備（馬術・山岳・ライフル射撃・カヌー技 4競技団体）</p> <p>○トップチーム支援事業（本部事業）【7,400】 競技スポーツ 本県において国民体育大会で活躍し、各競技の主軸となる競技力を有する顕著な企業等の運動部をトップチーム団体として指定し、その主体的な強化活動の支援を推進します。 ・【指定競技】 陸上競技・水泳・サッカー・テニス・ホッケー・バレーボール・体操・バスケットボール・ハンドボール・ソフトテニス・柔道・ソフトボール・剣道・ラグビー・カヌー・銃剣道・トライアスロン・スケート 18競技 35団体</p> <p>○公共スポーツ施設の有効活用【一】 競技スポーツ 県総合スポーツセンターや県国際総合水泳場、その他の公共スポーツ施設等において、ジュニア選手や県選抜チーム・選手が効果的・効率的に練習することができるように施設の有効活用を努めます。</p> <p>○選手・指導者の参加条件の整備【一】 競技スポーツ 競技力向上の推進に当たって児童生徒や教員の学校教育活動に支障をきたさぬよう十分配慮しながら、所属長に競技会等への参加について可能な限り配慮いただけるよう依頼します。</p>

リンクD 競技力の向上

施策3 スポーツ医・科学の積極的な活用

目標・方向性（関連性）

効果的な選手強化のためにスポーツ医・科学を導入する
 ア マルチコンディショニングサポート事業の推進（リンク E）

令和元年度の主な施策(計画) 【予算額(千円)】担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元計画	2	3
・スポーツドクター・ アスレティックトレーナー等の派遣 【6,005】競技スポーツ トレーナー派遣競技数及び人数 関東ブロック大会 本国体 強化練習、合宿	19 競技 43 人 20 競技 36 人 14 競技 延 261 日	19 競技 42 人 20 競技 36 人 13 競技 延 210 日	競技 人 競技 人 競技 延 日		
・基礎能力測定・障害相談・ 栄養相談の実施 【370】競技スポーツ 運動能力測定実施競技数 参加人数	延 8 競技 192 人	延 8 競技 136 人	延 競技 人		
・メディカルチェックの実施 【320】競技スポーツ 冬季大会実施人数 本国体実施人数	54 人 453 人	54 人 503 人	人 人		

- 継続して事業を進めていく予定のもの
- ☞ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

平成 30 年度主な施策の効果（成果・課題）	令和元年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班
<p>○スポーツドクター・ アスレティックトレーナー等の派遣 【6,005】 競技スポーツ</p> <p>・大会への派遣 関東ブロック大会、本国体に出場する競技団体の派遣期間に合わせてアスレティックトレーナーを派遣しました。</p> <p>選手監督と現地でのサポートだけでなく日ごろの強化活動からコミュニケーションをとり、選手のコンディショニング向上に取り組みました。</p> <p>・国体サポート及びジュニア強化事業への派遣 競技団体から依頼のあった国体サポート及びジュニア強化事業（強化合宿・強化練習等）にアスレティックトレーナーを派遣しました。</p> <p>現在活用している競技団体は、競技団体とトレーナーの間に厚い信頼関係が構築されており、傷害相談や予防のためのトレーニングを実施しており、選手たちも安心してトレーニングに打ち込むことができていることから、競技特性を理解したアスレティックトレーナーをより多くの競技団体に派遣しました。</p> <p>○基礎能力測定・障害相談・栄養相談【370】 競技スポーツ</p> <p>・測定項目：身体組織・心肺組織・敏捷性・瞬発力・筋持久力・筋力・全身持久力</p> <p>ジュニア能力測定は、上記項目を千葉県スポーツ科学センター測定室にて測定した後、各選手に測定結果を提示した上で各選手の特徴などを説明し、併せて、アスレティックトレーナーによる障害相談、管理栄養士による栄養指導、スポーツファーマシスト（薬剤師）によるドーピング防止啓発活動を行いました。</p> <p>選手のスキルアップのために、科学的根拠を積極的に取り入れようとしている競技団体は、毎年のように測定を行っており、継続的なデータ収集により効果をあげていることから、基礎能力測定を実施していない競技団体へ、実施を促しました。</p>	<p>○スポーツドクター・ アスレティックトレーナー等の派遣 【6,005】 競技スポーツ</p> <p>・大会への派遣 関東ブロック大会、本国体に出場する競技団体の派遣期間に合わせてアスレティックトレーナーを派遣します。</p> <p>選手監督と現地でのサポートだけでなく日頃の強化活動からコミュニケーションをとり、選手のコンディショニング向上を目指します。</p> <p>・国体サポート及びジュニア強化事業への派遣 競技団体から依頼のあった国体サポート及びジュニア強化事業（強化合宿・強化練習等）にアスレティックトレーナーを派遣します。</p> <p>現在活用している競技団体は、競技団体とトレーナーの間に厚い信頼関係が構築されています。傷害相談や予防のためのトレーニングを実施しており、選手等が、安心してトレーニングに打ち込むことができていることから、競技特性を理解したアスレティックトレーナーをより多くの競技団体に派遣します。</p> <p>○基礎能力測定・障害相談・栄養相談【370】 競技スポーツ</p> <p>・測定項目：身体組織・心肺組織・敏捷性・瞬発力・筋持久力・筋力・全身持久力</p> <p>ジュニア能力測定は、上記項目を千葉県スポーツ科学センター測定室にて測定した後、各選手に測定結果を提示した上で各選手の特徴などを説明し、併せて、アスレティックトレーナーによる障害相談、管理栄養士による栄養指導、スポーツファーマシスト（薬剤師）によるドーピング防止啓発活動を行います。</p> <p>選手のスキルアップのために、科学的根拠を積極的に取り入れようとしている競技団体は、毎年のように測定を行っており、継続的なデータ収集により効果をあげています。</p> <p>基礎能力測定を実施していない競技団体へ、実施を促します。</p>

○メディカルチェックの実施【320】

競技スポーツ

本大会、冬季大会ともに本大会役員帯同スポーツドクター（公益財団法人千葉県体育協会スポーツ医事・科学研究委員）により、国体参加選手が提出した健康診断票及び基本健康診断用紙のチェックを行いました。その中で、禁止薬物使用の有無などについてもチェックを行い、ドーピング防止にも取り組みました。

最高のコンディションで大会に参加できるようにサポートするために、選手の健康管理に対する意識を高めるための働きかけを行いました。

○メディカルチェックの実施【320】

競技スポーツ

本大会、冬季大会ともに本大会役員帯同スポーツドクター（公益財団法人千葉県体育協会スポーツ医事・科学研究委員）により、国体参加選手が提出した健康診断票及び基本健康診断用紙のチェックを行います。その中で、禁止薬物使用の有無などについてもチェックを行い、ドーピング防止にも努めます。

最高のコンディションで大会に参加できるようにサポートするために、選手の健康管理に対する意識を高めるための働きかけを行います。

リンクD 競技力の向上

施策4 組織・調査等の充実

目標・方向性（関連性）

国体選手選考・強化活動調査事業や競技力向上対策を行う

ア 各種会議の充実

イ 各種表彰と広報活動の充実（リンクC）

令和元年度の主な施策(計画) 【予算額(千円)】担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元計画	2	3
<p>・ 競技力向上推進本部会議の開催 【2,850】 競技スポーツ</p> <p>本部会議開催回数 総務企画部会開催回数 普及育成強化部会開催回数</p>	<p>年1回 年1回 年2回</p>	<p>年1回 年1回 年2回</p>	<p>年1回 年1回 年2回</p>		
<p>・ 関係団体との連携促進 県スポーツ協会との連携 各競技団体、県高等学校体育連盟、県小中学校体育連盟との連携</p>					→
<p>・ 各種会議等の開催</p> <p>国体対策委員会総会参加者数 強化、派遣担当者会議参加者数 結団式参加者数 解団式参加者数 若手指導者研修会参加者数 ヘッドコーチ会議参加者数</p>	<p>約130名 約100名 約300名 約120名 約100名 約40名</p>	<p>約130名 約100名 約300名 約110名 約100名 約40名</p>	<p>約130名 約100名 約300名 約110名 約100名</p>		
<p>・ 国体選手選考・強化活動調査事業 【1,000】 競技スポーツ</p> <p>競技力向上委員会の開催数 戦力分析会議の実施回数 他県調査の実施数</p>	<p>10回 4回 1県</p>	<p>10回 3回 1県</p>	<p>11回 3回 1県</p>		
<p>・ 広報・表彰の充実</p> <p>ホームページのアクセス数 国体リーフレットの作成、配付数 解団式での本部長表彰 (競技団体、選手、監督) 人数</p>	<p>20,712件 10,000部 天皇杯得点 14団体 皇后杯得点 11団体 監督 32名 選手 143名</p>	<p>20,000件 10,000部 天皇杯得点 19団体 皇后杯得点 13団体 監督 32名 選手 160名</p>	<p>20,000件 10,000部 天皇杯得点 団体 皇后杯得点 団体 監督 名 選手 名</p>		

→ 継続して事業を進めていく予定のもの

⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

平成 30 年度主な施策の効果（成果・課題）	令和元年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班
<p>○競技力推進本部会議の開催【2,460】 競技スポーツ</p> <p>計画的な強化施策を推進するとともに、着実に実績を残せるよう、事業の効果や進捗状況の把握に努めるために、本部会議と以下の部会を開催しました。なお、今年度から普及育成強化部会に調査・研究部門を設け、中長期の課題に対応しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務企画部会 予算および決算について、競技力向上推進総合計画について 等 ・普及育成強化部会 強化・育成 本県の強化の現状と今後の方向性について、選手の育成・強化について 等 調査・研究 ・指導者の資質向上方策 ・ジュニア選手の発掘 等 <p>総務企画部会は年 1 回、普及育成強化部会は年 2 回実施して、事業の効果や進捗状況を把握しました。その内容をもとに、予算、総合計画、強化方針等について具体的に検討します。</p> <p>○関係団体との連携促進</p> <p>県体育協会との連携を維持・強化するため、平成 23 年度より県スポーツ科学センターに分室を設置しています。</p> <p>また、県高体連、県小中体連を中心に総務企画部会、普及育成強化部会、その他研修会等で引き続き連携を図りました。</p> <p>関係競技団体に、各種会議はもとより、国体に県本部役員として参加をいただき、推進本部事業や国民体育大会への理解を促し、協力関係を深めます。</p> <p>○各種会議の開催による研修の充実</p> <p>国体対策委員会総会での講師による講演会や派遣・強化・会計担当者会議等の研修を充実させることで、円滑な強化活動の展開に取り組みました。</p> <p>今計画から実施している「若手指導者研修会」を継続するとともに、大会視察派遣、合同研修をとおして、若手指導者の見識を高め次代の指導者育成に努めました。</p> <p>また、「ヘッドコーチ会議」を開催し、強化活動の目標を明確にするとともに、国体終了後には総括を行い、来年度の計画にフィードバックしました。さらに、各競技団体の実践事例の情報交換を行い、組織的な強化を推進します。</p>	<p>○競技力推進本部会議の開催【2,850】 競技スポーツ</p> <p>計画的な強化施策を推進するとともに、着実に実績を残せるよう、事業の効果や進捗状況の把握に努めるために、本部会議と以下の部会を開催します。なお、昨年度から普及育成強化部会に調査・研究部門を設け、中長期の課題に対応しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務企画部会 予算および決算について、競技力向上推進総合計画について 等 ・普及育成強化部会 強化・育成 本県の強化の現状と今後の方向性について、選手の育成・強化について 等 調査・研究 ・指導者の資質向上方策 ・ジュニア選手の発掘・育成・強化 等 <p>総務企画部会は年 1 回、普及育成強化部会は年 2 回実施して、事業の効果や進捗状況を把握します。その内容をもとに、予算、総合計画、強化方針等について具体的に検討します。</p> <p>○関係団体との連携促進</p> <p>県スポーツ協会との連携を維持・強化するため、平成 23 年度より県スポーツ科学センターに分室を設置しています。</p> <p>また、県高体連、県小中体連を中心に総務企画部会、普及育成強化部会、その他研修会等で引き続き連携を図ります。</p> <p>関係競技団体に、各種会議はもとより、国体に県本部役員として参加をいただき、推進本部事業や国民体育大会への理解を促し、協力関係を深めます。</p> <p>○各種会議の開催による研修の充実</p> <p>国体対策委員会総会（国体チームちば総会）での講師による講演会や派遣・強化・会計担当者会議等の研修を充実させることで、円滑な強化活動の展開を目指します。</p> <p>「若手指導者養成研修会」を継続するとともに、大会視察派遣、合同研修をとおして、若手指導者の見識を高め次代の指導者育成に努めます。</p> <p>また、「競技団体強化・会計・派遣担当者会議」を開催し、強化活動の目標を明確にするとともに、国体終了後には総括を行い、来年度の計画にフィードバックします。</p>

○国体選手選考・強化活動調査事業

(本部事業)【1,300】競技スポーツ

本県競技力の現状把握、他県の戦力分析、国体代表選手団の選考等のため、競技力向上委員会を開催(年10回:競技力向上に関するディスカッション[4回]・国体代表選手の選考会議[6回])しました。

また、強化活動視察(通年)として大会会場や強化事業会場等への激励および視察を引き続き実施します。国体選手、監督、コーチの競技力把握と分析、競技団体との連携を図りました。

さらに、年3回の戦力分析会議を実施し、本県競技力の現状把握や他県の強化施策の分析を行い、その結果を基に、競技団体へ指導・助言を行いました。

○広報活動の充実

競技力向上推進本部事業、国民体育大会の結果、国体選手能力活用等のパンフレットを作成し、配布しました。また、インターネット等、各種メディアを利用した広報活動を実施しました。

○国体選手選考・強化活動調査事業

(本部事業)【1,000】競技スポーツ

本県競技力の現状把握、他県の戦力分析、国体代表選手団の選考等のため、競技力向上委員会を開催(年11回:競技力向上に関するディスカッション[4回]・国体代表選手の選考会議[6回])します。

また、強化活動視察(通年)として大会会場や強化事業会場等への激励および視察を引き続き実施します。国体選手、監督、コーチの競技力把握と分析、競技団体との連携を図ります。

さらに、年3回の戦力分析会議を実施し、本県競技力の現状把握や他県の強化施策の分析を行い、その結果を基に、競技団体へ指導・助言を行います。

○広報活動の充実

競技力向上推進本部事業、国民体育大会の結果、国体選手能力活用等のパンフレットを作成し、配布します。また、インターネット等、各種メディアを利用した広報活動を実施します。

リンクD 競技力の向上

施策5 競技会開催等の充実

目標・方向性（関連性）

各競技会の充実を図り、競技人口の拡大を図る

国際的スポーツ交流大会を充実させる

ア 競技スポーツへの参加（する、みる、ささえる）の裾野拡大（リンク F）

イ 国際交流事業の充実（リンク E）

令和元度の主な施策(計画) 【予算額(千円)】担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元計画	2	3
<p>・国民体育大会千葉県大会 （国体予選）の開催 【645】競技スポーツ 国民体育大会千葉県大会を主催 参加正式競技数</p>	<p>実施競技 40 競技</p>	<p>実施競技 40 競技</p>	<p>実施競技 40 競技</p>		
<p>・ドイツ・デュッセルドルフ市 とのスポーツ交流 【一】競技スポーツ 参加人数</p>	<p>卓球 役員 2 人 選手 8 人 テニス 役員 2 人 選手 4 人 サッカー 役員 1 人 選手 15 人</p>	<p>卓球 役員 2 人 選手 8 人 テニス 役員 2 人 選手 4 人</p>	<p>卓球 役員 人 選手 人 テニス 役員 人 選手 人</p>		
<p>・台湾・桃園市とのスポーツ交流 【2,183】競技スポーツ 参加人数</p>	<p>卓球 役員 6 名 選手 12 名</p>	<p>卓球 役員 6 名 選手 12 名</p>	<p>卓球 役員 名 選手 名</p>		
<p>・国民体育大会関東ブロック大会 の開催事業 【80,000】競技スポーツ</p>	→				

→ 継続して事業を進めていく予定のもの

⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

平成 30 年度主な施策の効果（成果・課題）	令和元年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班
<p>○国民体育大会千葉県大会（国体予選）の開催 【645】 競技スポーツ</p> <p>国民体育大会に出場する選手を選考するため、大会を共催（県・県体協・競技団体）しました。</p> <p>・大会概要</p> <p>期 間：本大会 4月1日～8月11日 冬季大会 10月1日～1月14日</p> <p>実施競技数：40 競技</p> <p>会 場：県内 24 市町、東京都、埼玉県、鳥取県、栃木県、新潟県、長野県、北海道</p> <p>○ドイツ・デュッセルドルフ市との国際スポーツ交流 【一】 オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援</p> <p>ドイツ・デュッセルドルフ市とのスポーツ交流を通じて、競技力の向上を図りました。</p> <p>テニスの派遣：8月11日～8月19日 14歳以下 男女選抜選手</p> <p>卓球の受入：7月28日～8月3日 16歳以下 男女選抜選手</p> <p>サッカーの派遣：中止</p> <p>○台湾・桃園市との国際スポーツ交流【2,183】 オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援</p> <p>台湾・桃園市とのスポーツ交流を通じて、国際交流を推進しました。</p> <p>受入：1月3日～7日 高校生を主体とする男女選抜選手</p> <p>○国民体育大会関東ブロック大会の開催準備 【888】 競技スポーツ</p>	<p>○国民体育大会千葉県大会（国体予選）の開催 【645】 競技スポーツ</p> <p>国民体育大会に出場する選手を選考するため、大会を共催（県・県ス協・競技団体）します。</p> <p>・大会概要</p> <p>期間：本大会 4月1日～8月11日 冬季大会 10月1日～1月13日（予定）</p> <p>実施競技数：40 競技</p> <p>会 場：県内 19 市町、東京都、栃木県、新潟県、長野県、北海道（予定）</p> <p>○ドイツ・デュッセルドルフ市とのスポーツ交流 【一】 競技スポーツ</p> <p>ドイツ・デュッセルドルフ市とのスポーツ交流を通じて、競技力の向上を図ります。</p> <p>テニスの派遣：8月 日～ 日 14歳以下 男女選抜選手</p> <p>卓球の来県：7月 日～8月 日 16歳以下 男女選抜選手</p> <p>○台湾・桃園市とのスポーツ交流 【2,183】 競技スポーツ</p> <p>台湾・桃園市とのスポーツ交流を通じて、競技力の向上を図ります。</p> <p>卓球の派遣： 月 日～ 日 高校生以下 男女選抜選手</p> <p>○国民体育大会関東ブロック大会の開催事業 【80,000】 競技スポーツ</p> <p>第 74 回国民体育大会関東ブロック大会を本県で開催します。</p> <p>・大会概要（予定）</p> <p>期間：令和元年 6月9日～12月8日（中心会期：8月23日～25日）総合開会式：8月23日</p> <p>会場：県内 16 市 2 町 県外 1 都 3 県</p>

リンクD 競技力の向上

施策6 競技スポーツの好循環

目標・方向性（関連性）

- オリンピック・パラリンピック等トップアスリート能力活用を推進する
- ジュニアアスリートへの教育プログラムを実施する
- ア トップアスリート等の活用（リンク E）
- イ 教育プログラムの推進（リンク E）

令和元年度の主な施策(計画) 【予算額(千円)】担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元計画	2	3
<ul style="list-style-type: none"> ・ トップアスリート等活用事業 【750】 競技スポーツ 					
実施回数	18回	17回	18回		
講師派遣人数	講師 52人	講師 46人	講師 50人		
参加人数	参加者 3,700人	参加者 5,120人	参加者 5,500人		
<ul style="list-style-type: none"> ・ アスリートキャリア開発研究 【一】 競技スポーツ 					
アスリートの就職支援の調査・研究				→	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ドーピング防止講習会等の開催 【255】 競技スポーツ 					
ドーピング防止講習会参加人数	394人	402人	49人		
スポーツフォーラム参加人数	43人	69人	70人		
科学講座参加人数	134人	140人	150人		

- 継続して事業を進めていく予定のもの
- ⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

平成 30 年度主な施策の効果（成果・課題）	令和元年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班
<p>○トップアスリート等活用事業【700】 競技スポーツ</p> <p>・オリンピック・パラリンピック選手や国民体育大会等で活躍したトップアスリートや指導者を学校や地域クラブ等に講師として派遣し、スポーツ教室や強化練習会等を行います。</p> <p>○アスリートキャリア開発研究【一】 競技スポーツ</p> <p>・国体選手等の本県への就職を応援し、スポーツキャリアを活かしたセカンドキャリアへの移行を進めるため、調査・研究を行います。</p> <p>○ドーピング防止講習会等の開催【255】 競技スポーツ</p> <p>・研修会の実施 ドーピング防止講習会（年1回）、スポーツフォーラム（年1回）、科学講座（年2回）を開催します。</p> <p>・ドーピング防止啓発活動の実施 ジュニア選手に対し、相談事業やドクターやトレーナーの派遣事業を通して、ドーピング防止を呼びかけ、スポーツファーマシスト（スポーツにおけるドーピングを防止することを主な活動としている薬剤師）によるドーピング防止啓発活動を行います。</p> <p>禁止薬物が年々更新されるので、研修会等を通して、情報不足による「うっかり」を含め、ドーピングを防ぐために、最新の情報提供をします。</p>	<p>○トップアスリート等活用事業【750】 競技スポーツ</p> <p>・オリンピック・パラリンピック選手や国民体育大会等で活躍したトップアスリートを講師として体育・スポーツ関係団体の活動に派遣することにより選手強化事業の成果を地域スポーツに還元するとともに、更なるスポーツの推進を図ります。</p> <p>○アスリートキャリア開発研究【一】 競技スポーツ</p> <p>・国体選手等の本県への就職を支援し、スポーツキャリアを活かしたセカンドキャリアへの移行を進めるため、調査・研究、ヒアリング等を行います。</p> <p>○ドーピング防止講習会等の開催【200】 競技スポーツ</p> <p>・研修会の実施 ドーピング防止講習会（年1回）、スポーツフォーラム（年1回）、科学講座（年2回）を開催します。</p> <p>・ドーピング防止啓発活動の実施 ジュニア選手に対し、相談事業やドクターやトレーナーの派遣事業を通して、ドーピング防止を呼びかけ、スポーツファーマシスト（スポーツにおけるドーピングを防止することを主な活動としている薬剤師）によるドーピング防止啓発活動を行います。</p> <p>禁止薬物が年々更新されるので、研修会等を通して、情報不足による「うっかり」を含め、ドーピングを防ぐために、最新の情報提供をします。</p>